



岩手県臨床研修病院
ガイドブック
医は手

2024



ACCESS



● 東北新幹線

東京⇄盛岡 2時間10分(はやぶさ)
2時間31分(はやて)
3時間04分(やまびこ)

仙台⇄盛岡 39分(はやぶさ)
45分(はやて)
1時間04分(やまびこ)

● 空路

いわて花巻空港

⇄札幌新千歳空港 55分
⇄名古屋小牧空港 1時間10分
⇄大阪伊丹空港 1時間20分
⇄神戸空港 1時間30分
⇄福岡空港 1時間55分

■ 盛岡駅までのアクセス

〈バス〉

花巻空港⇄盛岡駅 45分
花巻空港⇄花巻空港駅 7分

〈電車〉

花巻空港駅⇄盛岡駅 34分



CONTENTS

県内拠点に アクセス



- 1 目次・アクセス
- 2 いわてイーハトーヴ
臨床研修病院群概要
- 6 研修医インタビュー
- 10 指導医インタビュー
- 12 専門医制度
専攻医インタビュー
- 14 いわてイーハトーヴ
臨床研修病院群
- 16 岩手医科大学附属病院
- 17 盛岡赤十字病院
- 18 岩手県立中央病院
- 19 盛岡市立病院
- 20 岩手県立中部病院
- 21 岩手県立胆沢病院
- 22 岩手県立磐井病院
- 23 岩手県立大船渡病院
- 24 岩手県立宮古病院
- 25 岩手県立久慈病院
- 26 岩手県立二戸病院
- 27 いわてガイド



イーハトーヴとは

岩手県出身の宮沢賢治による造語で、心象世界にある理想郷を指す言葉。

いわてイーハトーヴ臨床研修病院群

岩手県の取り組み

岩手県では、各臨床研修病院の臨床研修プログラム責任者を中心に「いわてイーハトーヴ臨床研修病院群ワーキンググループ」を構成し、県と共同して臨床研修医を受け入れる環境整備に取り組んでいます。

01 いわてイーハトーヴ臨床研修病院群とは

岩手県内にある12の臨床研修病院がそれぞれの特徴を活かしながら、不足している部分を補い合えるシステムを構築してきました。岩手は一つになって、皆さんの臨床研修を支えます。それが、いわてイーハトーヴ臨床研修病院群です。

基本理念

- 地域背景や経営母体を超えて、良き医師を養成する。
- 研修医にとってベストな研修プログラム、教育環境を構築する。
- グローバルスタンダードに基づく、プライマリ・ケア研修を実践する。
- 研修医とともに医療の質を向上する。

つまり、研修医がプライマリ・ケアを身につけて良い医師になるため、各病院・各指導医がベストを尽くし、より良いものを作り上げるシステムです。



02 岩手県の臨床研修の特徴

■ 圧倒的な臨床経験

岩手県は広大な面積にも関わらず医師数が少なく、医師偏在指標は全国最下位の47位です。しかし、それだけ研修医が担当する患者数が多いということになります。圧倒的な臨床経験を得ること、それは皆さんを早期にプロフェッショナルへと成長させます。

■ 程よい専門志向と総合診療志向のバランス

岩手の病院では診療科が揃っていない病院も多く、それぞれの診療科が診る範囲を広げることで、地域医療をカバーしています。例えば消化器科医でも脳梗塞診療をする、外科医でも肺炎の治療をするという形です。専門診療を深めつつプライマリ・ケアにも携わることで、引き出しの多い臨床医に育ちます。

■ めくもりのある、医療者を大切にしてくれる県民性

学習において大切なのは「心理的安全性が担保されていること」です。強いストレスは学びの妨げになります。誰もが励まされ感謝されながら働き、学んでいきたいと願うものです。岩手県民にはそれを見守る懐の深さがあります。

■ グループダイナミクス

一人よりも数人、一つの組織よりもいくつかの組織のほうが、多様な考えが集まり、より良い発想が生まれる。それがグループダイナミクスです。岩手の病院ではお互いの足りない部分を補い合いながら医療を提供してきました。それは臨床研修でも同様に、不足している診療科を他の臨床研修病院で研修する、他の臨床研修病院が得意なものを勉強しに行くといった、たすきがけ研修が可能です。お互いの病院の良いところを学べます。また、いわてイーハトーヴ臨床研修病院群の合同企画では、グループワークを通じてまさにグループダイナミクスを体感することができます。医師としてチーム医療に参加していく礎になります。

03 全国随一の公的医療機関のネットワーク

岩手県では、県立病院20病院、地域診療センター6施設を設置しているなど、全国随一の公的医療機関のネットワークを構築しています。

こうした環境を活かし、各臨床研修病院では訪問診療を組み込むなど、充実した地域医療研修メニューを設定しています。



▲ 特定機能病院岩手医科大学附属病院

04 高度医療施設、最新の医療機器

岩手県には、特定機能病院として岩手医科大学附属病院、同じく岩手医科大学には、全国で7番目に認定された岩手県高度救命救急センターなど、高度医療施設が設置されています。

救急分野では、岩手県高度救命救急センターのほか、県内陸部の県立中央病院や県沿岸部の県立大船渡病院及び県立久慈病院に救命救急センターが設置されています。また、各病院には最新鋭の医療機器が導入され、高度な医療を提供する体制が整備されています。



▲ ドクターヘリ

岩手県医師確保対策アクションプラン

1 医師の養成・確保及び定着対策

- ・奨学金等医師養成事業
- ・医学部進学者の増加対策
- ・奨学金養成医師の計画的な配置
- ・奨学金養成医師の県内臨床研修病院での臨床研修の原則義務化
- ・奨学金養成医師の交流機会の場づくりによる義務履行終了後の県内定着促進
- ・県外で従事している即戦力医師の招聘活動
- ・自治医科大学卒業医師のへき地等の公的医療機関への配置

2 医師偏在対策

- ・奨学金養成医師の計画的な配置（再掲）
- ・研修中の養成医師の医師少数区域の公的医療機関への診療応援や短期派遣の調整
- ・自治医科大学卒業医師のへき地等の公的医療機関への配置（再掲）
- ・地域医療支援機構によるへき地等の公的医療機関への医師派遣
- ・積極的な偏在対策の実施に関する国への提言等

3 医師のキャリア形成支援

- ・医師支援調整監等による中長期的なキャリア形成支援による専攻医の確保・定着
- ・専門研修の指導体制や専攻医の受入態勢の充実
- ・総合診療医のキャリア形成支援
- ・奨学金養成医師に対応したキャリア形成プログラムの充実
- ・岩手医科大学と連携した県内臨床研修医に対する海外短期研修の実施

4 医師の働き方改革に対応した勤務環境改善支援

- ・医師の働き方改革に対応した勤務環境改善
- ・女性医師やシニア世代の医師等の多様な働き方の支援

5 地域医療の確保に向けた働きかけと情報発信

- ・県民総参加型の地域医療体制づくり
- ・積極的な偏在対策の実施に関する国への提言等（再掲）

県内臨床研修医の動向など（県内勤務等者数及び率）

- ※1 平成20年4月末修了者1名を含む
- ※2 平成25年2月末修了者を含む
- ※3 平成28年7月修了者1名を含む
- ※4 平成27年9月及び平成28年1月の中途受入2名を含む
- ※5 平成31年4月修了者1名を含む
- ※6 令和元年5月の中途受入1名を含む
- ※7 令和3年9月修了者2名を含む
- ※8 令和4年6月修了者1名、令和4年9月修了者1名を含む
- ※9 令和3年11月中途受入1名を含む

受入年度 区分	(参考) H15	H16 臨床研修必修化	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
臨床研修医(受入)	38名	58名	65名	76名	57名	66名	74名	69名	68名	67名	61名	67名
a: 研修修了者	(H18.3) 54名	(H19.3) 65名	(H20.3) 75名 ※1	(H21.3) 56名	(H22.3) 66名	(H23.3) 73名	(H24.3) 69名	(H25.3) 68名 ※2	(H26.3) 67名	(H27.3) 61名	(H28.3) 67名 ※3	
b: うち県内勤務等者	44名	56名	62名	44名	55名	57名	59名	58名	51名	43名	56名	
b/a: 県内勤務等率	81.5%	86.2%	82.7%	78.6%	83.3%	78.1%	85.5%	85.3%	76.1%	70.5%	83.6%	

受入年度 区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
臨床研修医(受入)	77名	67名	70名	76名	75名	61名	67名	61名	69名	74名	-
a: 研修修了者	(H29.3) 79名 ※4	(H30.3) 66名	(H31.3) 71名 ※5	(R2.3) 76名 ※6	(R3.3) 76名 ※7	(R4.3) 58名 ※8	(R5.3) 68名 ※9	(R6.3) 61名	-	-	-
b: うち県内勤務等者	60名	50名	53名	56名	65名	49名	58名	41名	-	-	-
b/a: 県内勤務等率	75.9%	75.8%	74.6%	73.7%	85.5%	84.5%	85.3%	67.2%	-	-	-

勤務医の勤務環境向上支援の取組み

■勤務医の勤務環境向上支援の取組み

産科医、新生児担当医確保、中核病院の病診連携、院内保育（夜間、病児等保育）事業などへの支援を行います。

■女性医師の就業支援の取組み

岩手県では、平成19年から「女性医師就業支援事業」を実施し、育児支援、職場復帰研修の取組みを推進しています。

●育児支援事業

就学前の乳幼児を子育て中であって、県内の医療機関に勤務する女性医師を対象とし、勤務形態に合わせて保育にあたる者（ベビーシッターなど）を確保するなどの支援を行います。

●職場復帰支援事業

育児などのために離職し、その後に復帰（再就業）を希望する女性医師で、岩手医科大学での研修を希望する方に対し、離職時の就業状態及び離職期間に応じた研修を行います。

いわてイーハトーヴ臨床研修病院群

医学生の皆様に向けた取り組み

01 岩手県臨床研修病院合同説明会

年に数回、全病院参加の臨床研修病院説明会を開催しています。

各病院が自院の特徴をプレゼンテーションし、研修医に質問をすることも可能です。一日で複数病院の説明を聞くことができるので、効率的ですし、臨床研修病院間の違いを比べることができます。



▲合同説明会（マイナビRESIDENT FESTIVAL 仙台会場）

02 岩手県臨床研修病院合同面接会

全病院が同じ日、同じ会場で採用面接を行う日を設けています。これにより、複数病院を面接する場合に各病院に足を運ぶ必要がなく、併願しやすくなっています。



▲合同説明会（岩手医科大学）

臨床研修医に向けた取り組み

01 臨床研修医合同オリエンテーション（平成19年度からの取り組み）

県内の臨床研修病院に採用された臨床研修医を対象に、臨床研修を進める上で必要な法令、規則などの知識や基本的な手技などの習得のほか、臨床研修医間のネットワーク形成を図る機会として実施しています。

毎年、4月上旬に開催し、令和6年度は74名が参加。「ドクターG」こと福井大学医学部の林寛之先生による講演のほか、多職種と触れ合うシミュレーションなどを行いました。



▲林寛之先生



▲合同オリエンテーション

02 2年次の臨床研修医を対象とした臨床能力向上セミナー

県内の臨床研修医（2年次）が一堂に会して、自身の基本的診療能力がこれまでの臨床研修によってどれだけ身に付いているかを確認し、その場で指導を受けることで、一般的な診療において頻繁に関わる疾病に適切に対応できる診療能力のレベルアップを目的として実施しています。

また、研修医が進んで学ぶ場として、平成22年度まで実施した合同OSCE（客観的臨床能力試験）を進化させて開催するほか、令和5年度からは、ACPセミナーと同時開催とし、臨床研修が修了した3年目以降、自らが責任ある主治医として医療に携わる上で、患者さんや家族のストーリーを大切にしながら、多職種で関わりを深めつつ意志決定していく方法を学びます。

令和5年度は、県内の2年次研修医62名が参加し、県内の指導医を講師に、ロールプレイや腹部・心エコーなどワークショップにより理解を深めました。



▲臨床能力向上セミナー

指導医に向けた取り組み

01 指導医講習会

岩手県では、厚生労働省の指針に沿った臨床研修指導医講習会を、全国で初めて県主催として開催するなど、早くから指導医の養成に取り組んできました。

指導医の指導力、教育力を高めるために、現場ですぐ使える知識を身に付け、問題解決のきっかけを作ることを目標とした内容にしています。講習会修了後もファシリテーターとして参加することでFD（指導医のスキルアップ）にもつながります。



▲指導医講習会

指導医の状況

岩手県内12の臨床研修病院の指導医数は672名。このうち指導医講習会を受講した医師は516名（受講率76.7%/令和5年4月1日現在）で、充実した臨床研修指導体制が築かれています。

令和5年度は、集合形式で岩手医科大学と共催で開催し、ハイレベルな臨床研修指導医講習会を開催するなど、指導医の資質向上を図っています。

研修医数 (a)	指導医数 (b)	(b)のうち指導医講習会受講数 (c)	受講済み指導医と研修医の比率 (c):(a)
130名(※)	672名 (令和5年4月1日現在)	516名 (令和5年4月1日現在)	約 4 : 1

※令和4年度～5年度採用者の合計人数

■県別にみた臨床研修病院指導医講習会受講者数及び率(基幹型のみ)

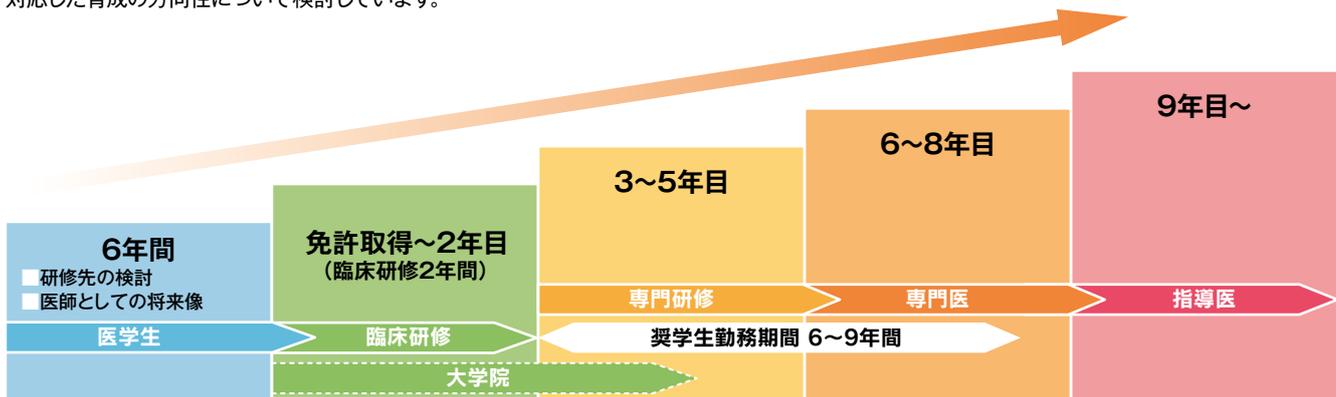
	指導医数	受講者数	受講率
岩手県	672	516	76.7%
青森県	794	619	77.9%
宮城県	1,593	1,103	69.2%
秋田県	819	656	80.0%
山形県	680	490	72.0%
福島県	1,071	911	85.0%
東北計	5,629	4,295	76.3%

(令和5年4月1日現在、東北厚生局調べ)

その他の取り組み

01 医師のキャリア形成に対応した取り組み

魅力ある専門研修プログラムの構築など、医師のキャリア形成に対応した育成の方向性について検討しています。



臨床研修医に聞く

岩手県の病院でキャリアをスタートさせた臨床研修医。どのような環境で研鑽を積み、どんなことを学んだのか。県内各地で奮闘する9人の臨床研修医に、それぞれの思いを聞きました。(取材は2024年5月)





ちば ゆうき
千葉 勇輝

岩手県奥州市出身 1998年生まれ
秋田大学医学部卒
臨床研修病院：岩手県立胆沢病院

現場の先生方をモデルに 患者さんと向き合っています

充実した支援体制

胆沢病院は1科ごとのローテーションが長く、深く学ぶことができるのが魅力です。研修のバックアップ体制が整っていて、指導医でない先生方も「分からないことがあったら、すぐ聞いて」というスタンスでいてくださり、研修医を育てようという雰囲気を感じます。もともと循環器科を考えていましたが、回った科の面白さを知ったり、先生方の患者さんに対する姿勢に感銘を受けたりする中で、ほかの科も視野に入ってきました。研修を通じて身に付いたことは、患者さんへの接し方です。最初はカルテからの情報収集でいっぱいだったのですが、今は上の先生方を見習い、患者さんと顔を合わせてちゃんと話を聞くよう心がけています。

個を大切に作る診察を アメリカで学びました

短期海外研修が糧に

以前から異文化交流に関心があり、「岩手県臨床研修医短期海外研修」に応募。ニューヨークの2つの医療施設で研修する機会をいただきました。研修先の先生方は、人種や宗教、言語、生活スタイルなどバックグラウンドが異なる患者さん一人ひとりを、差別することなく、人として尊重して診療されていました。私の志望する精神科では、特に患者さんのお話を傾聴し、寄り添う姿勢、そして職種の分け隔てなくチーム一体となって患者さんのために力を合わせる事が求められると思います。研修先の先生方の対応や、スタッフ同士が互いに信頼、尊重し合っている姿から、目指すべき医療について多くを学ぶことができました。



てらだ あかね
寺田 茜

岩手県盛岡市出身 1998年生まれ
岩手医科大学医学部卒
臨床研修病院：岩手県立中部病院



にいぬま くんぺい
新沼 勲平

岩手県大船渡市出身 1997年生まれ
岩手医科大学医学部卒
臨床研修病院：岩手県立久慈病院

他職種との距離が近く 働きやすい環境です

全力サポートに感謝

大船渡市で育ち、盛岡で学生生活を送ったので、新しい環境で研修を始めようと考えました。見学に来たとき、久慈病院は他職種との距離が近くて雰囲気も良く、働きやすそうだなと感じました。科と科の垣根が低く、回っている科ではない先生から声をかけていただいて手技を経験させてもらうこともありますし、自分から「やりたいです」と言ったことに対して全力でサポートしていただくなど、とても良い環境で学んでいます。研修を通じて、患者さんの背景にまで踏み込んで考え、病態からいろいろなことを類推して診ることの大切さを学んでいます。ただ治すだけでなく、患者さんに寄り添える医師を目指します。

臨床研修医に聞く



おおの ひめか
大野 妃香

岩手県盛岡市出身 1996年生まれ
自治医科大学医学部卒
臨床研修病院：岩手県立大船渡病院

ライフプランも考えられる 恵まれた研修環境です

女性医師をモデルに

学生時代から産婦人科に興味を持っていました。周産期に力を入れていること、病院全体の雰囲気の良さから大船渡病院を選びましたが、入職してからはロールモデルとなる女性医師の先生方との出会いもあり、選んで良かったと思います。中規模の病院なので、医師だけでなく看護師やほかのスタッフも研修医のことを「個」で認識し、成長を見守ってくださっていると感じています。終業後、産婦人科の先輩方にラパロボックスでの練習や勉強会に誘っていただいて、その帰りにご飯をご馳走になることも。確かな技術には修練が必要ですが、大船渡病院でとても楽しく研修しています。研修生としてお勧めしたい環境です。

主体的に取り組む職場で 対応力がつきました

幅広い症例を経験

中央病院出身の先生方から「臨床研修先の病院として、とてもいいよ。」と伺っていました。学生時代に見学に来た際、病院全体の雰囲気がとても良かったことを記憶しています。研修医が主体的に診療にあたっていて、ここで研修したら力がつくだろうと、即決しました。軽傷から、重症の患者さんまで、自分が思ってた以上にさまざまな診療を経験でき、1年経つ頃には対応できることが増えたと感じています。岩手県は県立病院が多く、そのスタッフの方々と研修会などで顔を合わせて情報交換をしたり、たすきがけ研修で他病院の研修医との交流もでき、盛岡にいながら多くの知識を吸収し、実りある研修となっています。これからは先輩先生方を手本に、患者さんに信頼される医師を目指し、同期、後輩とともに頑張ります。



きむら しゅう
木村 秀

秋田県秋田市出身 1997年生まれ
東北大学医学部卒
臨床研修病院：岩手県立中央病院



おやまだ ゆめ
小山田 夕芽

岩手県盛岡市出身 1997年生まれ
岩手医科大学医学部卒
臨床研修病院：岩手医科大学附属病院

いいとこどりができる 自由度の高いプログラム

大学図書館も活用

地域枠で入学したため、3年目以降は県立病院に勤める機会が多くなると思い、2年間は大学病院の医療を経験したいと考えました。岩手医科大学附属病院では診断や治療が難しい症例も多いですが、大学図書館なども活用し、学びを深めながら研修できることも魅力の1つです。診療科が多いのも特色ですが、各診療科の研修を終えると、今まで見えてこなかった身体所見や症状にも目を向けられるようになり、幅広い視野をもつことの大切さも学ぶことができます。専門性の高い医療に難しさを感じることも多いですが、エコーやCVなど研修医向けの講習会も充実しており、医学生との関わりも成長につながっています。たすきがけ研修できる期間も長く、市中病院の医療もバランスよく経験でき、研修生の希望次第で多くの機会を得ることができ、研修の幅を広げることができます。



おさだ こうすけ
長田 昂祐

群馬県前橋市出身 1991年生まれ
聖マリアンナ医科大学医学部卒
臨床研修病院：岩手県立宮古病院

手厚い指導を受けながら 多くの経験を積んでいます

将来は岩手に恩返しを

宮古市の奨学金を借りたので、義務年限に含まれない臨床研修の段階から来て、職場や生活環境に慣れようと考えました。同期がおらず私1人ということもあり、どの科の先生にも手厚く指導していただき、胃カメラやカテーテルなど、さまざまな経験を積ませてもらっています。高齢の患者さんが多く、疾患が組み合わさった複雑な病態のこともあります。上の先生に相談しながら診察を進めることができます。医師不足の地域で働くことになるので、どの診療科を選んだとしても、全身を管理できるような総合医的な医師になりたい。奨学金をいただいて宮古市と岩手県に育ててもらっているので、徐々に力をつけて恩返ししていきます。

地域の特徴を理解し 診察できる医師に

外との交流が刺激に

奨学金の関係から、岩手で働くことにしました。磐井病院にしたのは、研修医が少なく、現場で経験を積みながら実力をつけていけないのではないかと考えたからです。同期は皆、異なる大学の出身です。当直の経験を伝え合うなどコミュニケーションは密にとっていますし、上級医と同じ部屋で過ごしているので、すぐに質問できる風通しのいい環境です。県内外から来るたすきがけの研修医を通じて他病院の強みの分野を教えてもらうなど、いながらにして外との交流ができて刺激になっています。奨学金の義務年限が終わっても岩手で働くつもりなので、広い県土を持つ岩手の各地域の特徴を理解し、患者さんと一緒に治療方針を考えていければと思います。



ひらた ゆういちろう
平田 雄一朗

鳥取県境港市出身 1995年生まれ
東北医科薬科大学医学部卒
臨床研修病院：岩手県立磐井病院



むらまつ ゆうり
村上 友梨

宮城県仙台市出身 1997年生まれ
東北医科薬科大学医学部卒
臨床研修病院：盛岡市立病院

各病院での良い出会いが 将来を考える貴重な体験に

岩手を第二の故郷に

大学では岩手県の奨学金をいただいて学んだので将来的に長くお世話になりますし、第二の故郷にできればという期待を込めて、臨床研修から岩手に来ました。盛岡市立病院は臨床研修医の定員が4名と少人数なことから、先生方を独り占めするような感覚で指導していただけますし、事務の方も丁寧に相談にのってくれます。たすきがけで胆沢病院と盛岡赤十字病院、岩手医科大学附属病院に行きました。地域によって病院が担う役割が異なることを肌で感じるとともに、病院が地域に密着し、患者さんに頼りにされていることも分かりました。県内の各病院での良い出会いは、自分の興味の方向や今後のキャリアを考えるきっかけにもなる貴重な体験でした。



高度な医療とコモンな症例

たすきがけ研修で学べます

他病院でも経験を

岩手県で研修するメリットは、臨床研修医が診ることができる症例が豊富だということです。また、臨床研修病院を行き来できる「たすきがけ」の制度で、病院ごとに異なる雰囲気やシステムのもとで勉強し、自分の研修先だけではできない経験を積むことで刺激を受け、新たな視点を養えます。

小規模病院からはたすきがけに出て、大きい病院は受け入れることが多いと思いますが、岩手医科大学附属病院は、ほぼ半々。専門的なことを学びにくる人が多い一方で、大学病院の研修カリキュラムは出られる期間が最大で1年と長く、コモンな症例や手技を経験するために学びたい分野を選んで他病院で研修する人も少なくありません。そうしたバランスがうまく取れるカリキュラムです。

まいた しんや
米田 真也

岩手医科大学附属病院
総合診療医学講座講師

2004年 秋田大学医学部卒業
2004年～ 岩手県立胆沢病院
2006年～ 秋田大学医学部附属病院
2007年～ 岩手県立胆沢病院
2008年～ 秋田大学医学部附属病院
2009年～ 由利組合総合病院
2010年～ 秋田大学医学部附属病院
2012年～ 岩手県立胆沢病院
2024年～ 岩手医科大学附属病院

学び続ける姿勢で

指導医なら誰しも研修医に対して、学ぼうという気持ち、積極性を持って取り組む姿勢を期待していると思います。岩手は医師数が少ないため研修医が担う部分が多く、自然と経験を積むことができます。また、病院によっては研修医の人数が少なく、たくさんの症例が割り当てられる環境にあります。しかし、降ってくるのを待っている人と、そうでない人では得るものが違います。自分から、という姿勢の人は伸びていきます。

臨床研修、専攻医とカリキュラムがあるうちはいい。学校と同じで、それに則っていけば、ある程度のところまでいけます。しかし、そこから先の人生のほうが長いのですから、自分に求められていることは何か、どのような貢献ができるかをよく見て考えて、自分がより発展していくために習得すべきこと、努力すべきことを追求していかなければなりません。研修医の期間は、そのための練習段階です。自ら考え、指導医にうまく伝えることも大切です。

できることが増えると、教えてもらえる機会が減ります。40年、50年先を見据えながら、目の前のことを解決できるよう問題点を整理して学んでいくことは非常に重要で、その姿勢こそがプロフェッショナルリズムです。知識や技術だけでなく、学び続ける方法を教えるのが私たちの仕事と考えて取り組んでいます。



良き指導者に出会い

目指す道へ踏み出そう

豊富な症例が強み

岩手県立中央病院は県内でも規模の大きいセンター病院で、全科が揃っています。患者数が多く医師は少ないので、若い先生たちの診療の機会、さまざまな経験を積む機会が多いことが、当院で研修する最大のメリットだと考えています。初期研修に続く専門研修も重要で、専門医を取るための症例が多いという利点もあります。

また、診療や手技はもちろんですが、大学院進学を目指している人に対して教育ができるのもアピールポイントです。大学院に進む手前で、研究したことがある、英語の論文を書いたことがあるという経験は非常に大切になりますが、そのための助走をサポートすることができます。血液内科や内分泌代謝内科など、考えることが中心の研修もできる病院なのです。

なかや いざや
中屋 来哉
 岩手県立中央病院
 診療部次長兼
 医療研修部次長兼
 副腎センター長兼
 腎臓・リウマチ科長

1999年 東北大学医学部卒業
 2000年～ 金沢大学医学部附属病院
 2001年～ 金沢市立病院
 2002年～ 国立金沢病院
 2003年～ 公立松任石川中央病院
 2004年～ 金沢大学医学部附属病院
 2005年～ 越野病院
 2006年～ 富山県中央病院
 2007年～ 岩手県立中央病院

自ら進んで実践を

臨床研修医に望むのは、元気に明るく、日々をこなすこと。若い医師は、実践あるのみです。患者さんが多く、救急車もたくさん来る中央病院は、研修医が指導医の後ろに下がっていられる環境ではありません。チャレンジしようと、常に前に出る姿勢が大切です。「中央病院で2年間やるぞ!」という心意気さえあれば何とかなる。指導医としての経験から、皆さんにはそう伝えたいと思います。

2年間の研修期間中に、どの科に進むかを決めることになりましたが、初志貫徹する人は5～6割くらいでしょうか。当院は科が揃っているため、進路変更もしやすい。ですから、学生向けの説明会などでは「迷っている人も、どうぞ来てください」と話します。いい指導医に出会い、そこに行くという人もいます。恐れずに、やる気を持って取り組んでください。

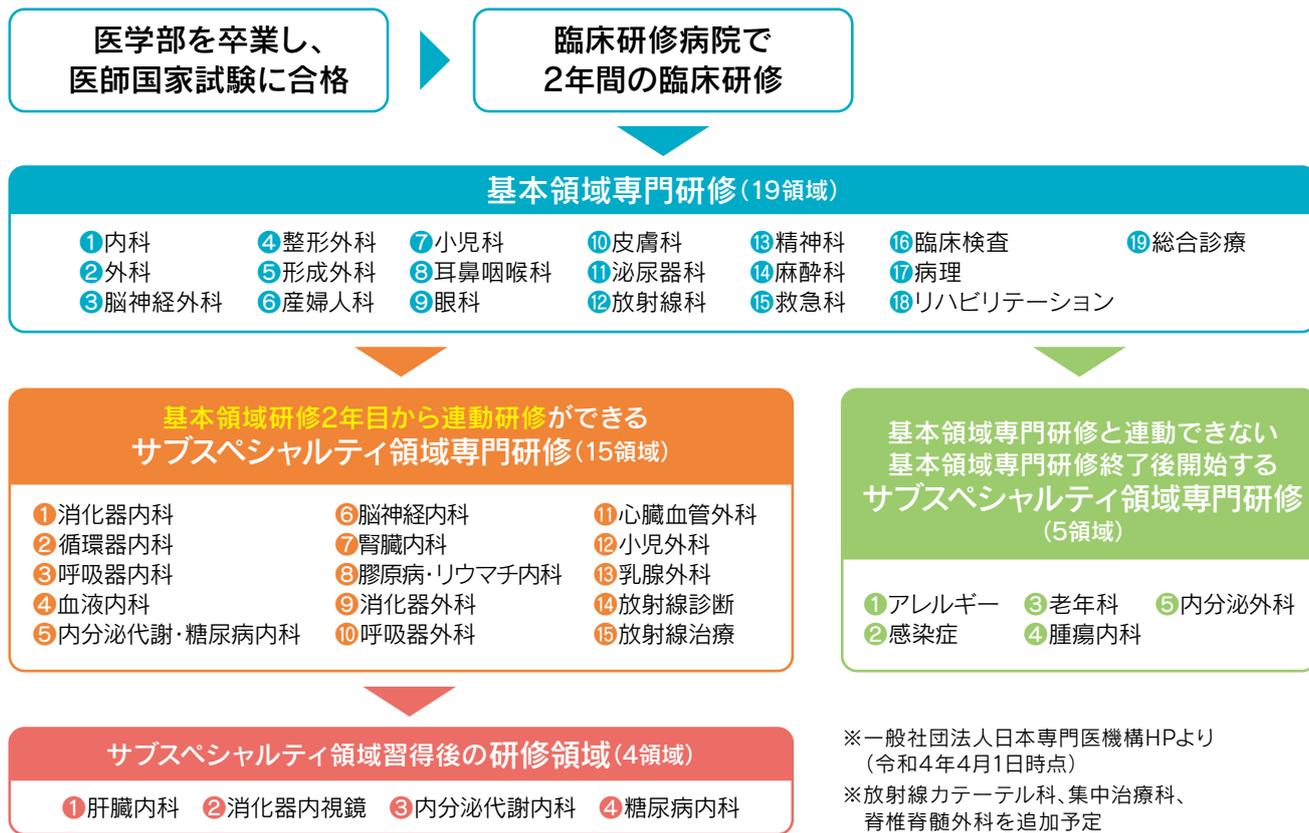
研修医を指導する中で、私は彼らにメンター、すなわち良き指導医を3人くらい見つけなさいと話しています。そして、それぞれのいいところ取りをしてください。中央病院での診療をモデルにする人、研究者を目指す人、小さい病院で働きたいという人……と目標はさまざまですが、自分にフィットするメンターを見つけ、そこを目指しながら学んでほしい。そのために、私たち指導医は研修医の皆さんを見守り、支えていきます。

専門医制度

01 新しい専門医制度について

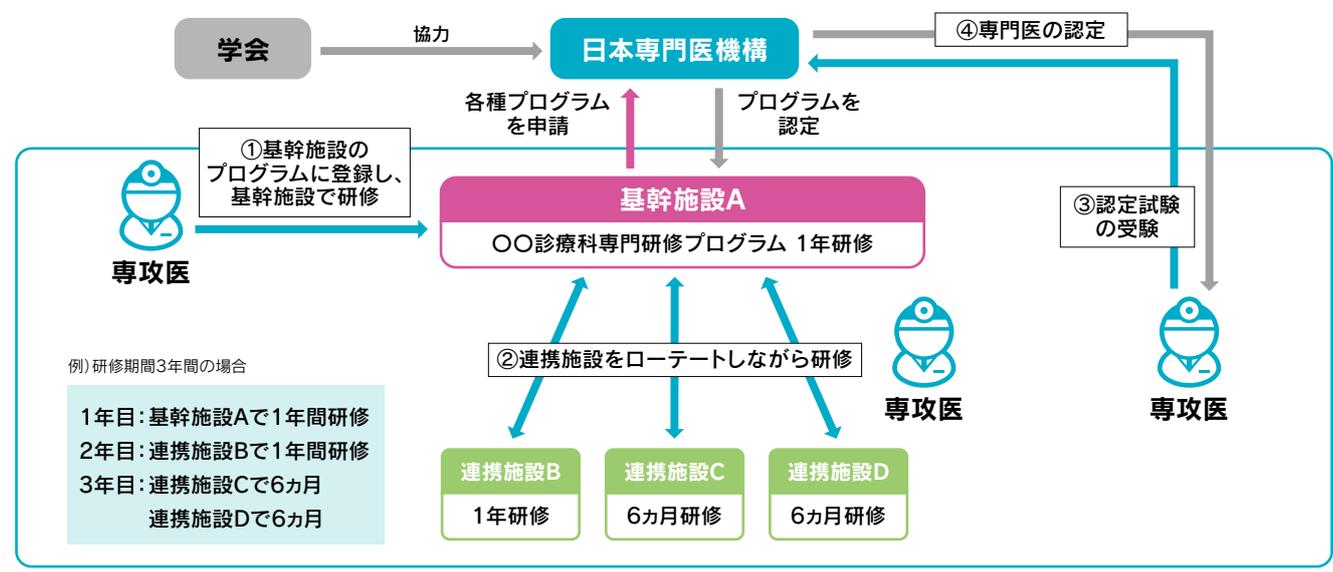
平成30年4月に開始された新しい専門医制度では、医師国家試験に合格し臨床研修(2年間)を終了した後、希望する基本領域ごとに基幹施設の専門研修プログラムで定める期間、「専門研修」を行うことになります。

専門研修は、基幹施設と連携施設をローテートして研修を実施します。



日本専門医機構が指導医数、症例数、研究実績等の基準を満たす基本領域専門研修プログラムを認定し、専攻医は基幹施設・連携施設とローテートして研修します。

<イメージ図>



専攻医インタビュー

責任を持って 治療方針を決定

ちだ きこ
千田 喜子

専攻医

岩手県滝沢市出身 1996年生まれ
岩手医科大学卒
臨床研修病院：岩手県立中央病院



幅広い疾患を診るために

医者がいない地区の出身だったことから、将来、おじいちゃん、おばあちゃんの健康相談にのれる存在がいたほうがいいかなと思ったのが、この道に進んだきっかけの一つです。学生時代から、幅広い疾患を診ることができる総合診療科に特に興味がありました。私が入ったイーハトーヴ総合診療科プログラムは関連施設が多く、その中から「ここで学びたい」と思う病院を中心に研修しています。初期研修は中央病院で、専攻医1年目は2月まで中央病院、3・4月は必修の救急科研修を岩手医科大学附属病院の高度救命救急センターで受けて、5月から中部病院に来ました。自由度が高く、私がしたい勉強を希望する病院でさせてもらっていて、非常に私にとってはありがたいプログラムです。



患者さんとの対話が大切

専攻医になって、患者さんご家族と相談して、検査や治療方針などを決め、その決定に対し責任を持つという立場になりました。今も上級医に相談しつつではありますが、患者さん本人ご家族と対話し、考えを確認することが重要だと実感するようになりました。判断材料をもとに、どうやって決めていけばいいの、そのプロセスが徐々に分かるようになってきたと思います。将来は在宅医療、地域でのかかりつけ医のようなポジションで働きたいと考えているので、いろいろな先生方からご助言頂いた「検査結果やカルテを通じてではなく、目の前の患者さんを見なさい」という言葉を大切にしながら、今のうちにしっかり自分の診療レベルを上げていきたいと思っています。



岩手県内 11 病院紹介

いわてイーハトーヴ
臨床研修病院群とは

岩手県内11の臨床研修病院が「いわてイーハトーヴ臨床研修病院群」としてスクラムを組み、各病院の指導医が緊密に連携しあい、臨床研修体制の充実、環境整備に向けた一体的な取組みを行っています。



岩手県内の臨床研修病院

盛岡 盛岡市

- 1 岩手医科大学附属病院
- 2 盛岡赤十字病院
- 3 県立中央病院
- 4 盛岡市立病院

岩手中部 北上市

- 5 県立中部病院

胆江 奥州市

- 6 県立胆沢病院

両磐 一関市

- 7 県立磐井病院

気仙 大船渡市

- 8 県立大船渡病院

宮古 宮古市

- 9 県立宮古病院

久慈 久慈市

- 10 県立久慈病院

二戸 二戸市

- 11 県立二戸病院

01 たすきがけ研修について

岩手県では、県内12の臨床研修病院が「すべて相互の臨床研修病院」となっています。これにより、病院間相互の強みを活かし、岩手県内どの病院でも研修が可能となる「たすきがけ研修体制」が実現しています。自身の研修病院に腰を据えて学びながらも、その病院にはない診療科や、学んでみたい指導医のもとで研修を行い、経験の幅を広げることができます。毎年100人弱の臨床研修医が本制度を利用しています。

各病院プログラムのたすきがけ研修ルール

岩手医科大学附属病院	原則4週間単位で、最大52週可 (52週は地域医療研修及び総合診療科を含む)	県立胆沢病院	必修診療科は8週まで、 選択診療科は12週まで派遣可能
盛岡赤十字病院	①4週間単位で必修診療科8週、 自由選択12週の最大20週まで可 ②1年次の10月から派遣可能だが ほかの研修医とのバランスを調整し派遣する ③2年次の最終8週は院内研修とする	県立磐井病院	2年次に3ブロック(12週)まで派遣可能
県立中央病院	原則、中央病院にない診療科・診療領域	県立大船渡病院	自由に派遣可能だが、 他研修医とのバランスをみながら時期等を検討
盛岡市立病院	自由に派遣可能	県立宮古病院	指導医と相談のうえ、12週程度を目安に派遣可能
北上済生会病院	基幹病院52週以上、協力施設12週以内、 それ以外は自由に派遣可能	県立久慈病院	原則4ヶ月派遣可能
県立中部病院	当院で研修できない内容は、 自由選択期間で最大12週分派遣可能	県立二戸病院	自由選択期間中、基本的には自由に派遣可能 (要調整)

02 各病院の臨床研修アピールポイント

岩手医科大学 附属病院 p16へ	研修医の実情にあわせて自由度の高い臨床研修が可能。臨床研修医向けの検査手技レクチャーや各種セミナーも充実	県立胆沢病院 p22へ	ひとつの診療科を長めにローテートすることで、 責任ある医療を経験する。 多くの手技を経験できる。
盛岡赤十字病院 p17へ	①コメディカル研修を取り入れたチーム医療の実践 ②自由度の高いプログラム編成 ③救急初期対応から慢性期診療まで プライマリケアの経験 ④診療科の垣根を超えた相談しやすい環境	県立磐井病院 p23へ	①手技に積極的、執刀も! ②上級医との(良い意味での)近さ ③新幹線へのアクセスのよさ ④綺麗な施設、宿舎も完備
県立中央病院 p18へ	診療科が多く、経験症例数が豊富。出身大学も多彩で、お互いに刺激し合える環境が当院にはあります。また、救急センターで初療を行える診療能力を修得できます。	県立大船渡病院 p24へ	①軽症から重症まで幅広く、基本的な救急対応を 学べます! ②上級医の先生方と距離が近く、相談しやすい環境!
盛岡市立病院 p19へ	必修科目終了後に「自由選択コース・消化器内科コース・外科コース」のいずれかを選択でき、 市中病院での多様で豊富な症例を経験できます	県立宮古病院 p25へ	広大な宮古医療圏最後の砦。幅広い症例を経験しながら、地域を見渡す視点も養うことができます。 そして、少人数ならではの手厚い指導!
北上済生会病院 p20へ	①新病院である ②定員少数によりマンツーマンでの指導が可能 ③小児科・整形外科等の症例が豊富 ④家賃(光熱水費込み)が格安	県立久慈病院 p26へ	救命救急センターを併設し、 一次から三次救急まで受入れています。 プライマリケアから専門医療まで 幅広く学ぶことができます。
県立中部病院 p21へ	基本手技は研修医の役目。 当院での研修経験は、3年目になって実感を保証!	県立二戸病院 p27へ	募集5名の少数精鋭だからこそ 出来る研修があります!!

03 病院見学について

岩手県では病院見学にお越し頂いた医学生のみなさんに、往復の旅費を支給しています。申し込みは各臨床研修病院のホームページからも可能ですが、複数病院を見学するツアーを希望する方には、病院間の見学日程を岩手県医師支援進室が間に入って調整することもできます。一度にいくつかの病院を見学したいけど調整どうしよう…という方、迷わず岩手県医師支援進室へご連絡ください。

岩手県医師支援進室

☎ 019-629-6352(平日9:00~17:00)

✉ EA0006@pref.iwate.jp

<https://rinsyo-iwate.pref.iwate.jp/>



01 盛岡 岩手医科大学附属病院

誠の精神に基づく、誠の医療の実践

01 病院データ

	標榜診療科	47 科
	病床数	1,000 床
	医師数	256 人 (常勤/2024年4月1日現在)

宿舎
当院の宿舎(レジデントハイム)は、大学と病院のほぼ中間に位置しており、病院へは戸外に出ることなく行き来することができ、通勤に係るストレスはフリーです。

研修室の様子



02 病院の特色

令和元年9月、病床数1,000床、手術室20室を備える国内最大級規模の病院に移転しました。県内唯一の特定機能病院として高度で先進的な医療を提供する一方、岩手県高度救命救急センターやドクターヘリの運行など、地域の救急医療にも貢献し、総合周産期母子医療センター(MFICU、NICU)、都道府県がん診療拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、岩手県認知症患者医療センターなど、様々な拠点病院として地域医療の中核的役割を担っています。

03 研修の特徴

令和7年度 募集人数 40人

岩手県唯一の大学病院である当院では、各専門診療科のバックアップ体制のもと、より深くより広く思考する科学的姿勢を身に付けることができます。指導医数・症例数も豊富で、研修医の身近に各分野のエキスパートが数多く存在することが、最大の教育的特色です。また、診療能力の向上のため、主要各科によるコアレクチャーや臨床研修医のための症例検討会、CPC、など多彩な教育セミナーを実施しています。さらに、当院臨床研修プログラムの特徴として、選択科目の研修期間が45週あり、自由にローテートを組むことができます。協力病院・協力施設は県内外に40施設あり、52週を限度に院外での研修が可能です。また、多くの専門医・認定医の研修施設認定を受けていることから、専門医・認定医を視野に入れた研修が可能です。平成30年度に始まった新専門医制度においても、すべての基本領域での研修が可能です。



手術風景



オリエンテーション風景



ドクターヘリ

04 研修プログラムの一例

1年次	オリエンテーション	内科	救急	外科	小児	内科	産婦人科	総合診療	病理
	2週	20週	8週	4週	4週	4週	4週	4週	1週

2年次	選択研修	精神	地域医療	選択研修(院外)	選択研修
	8週	4週	4週	20週	17週

岩手医科大学附属病院

〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通2-1-1
 TEL/FAX 019-907-7764
 E-mail resident@j.iwate-med.ac.jp
 問い合わせ先 研修センター事務局
 HP <https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/resident/>
 院長 森野 禎浩



01 病院データ

	標榜診療科	23 科
	病床数	354 床
	医師数	53 人 (常勤/2024年4月1日現在)

	宿舎
なし	
住宅手当: 毎月28,500円(上限)	

研修室の様子



02 病院の特色

盛岡市南部に位置する当院は、市内だけでなく近隣の市町村からの患者を幅広く受け入れ診療にあたっています。23科にわたる各診療科は岩手医科大学附属病院などとも連携し、質の高い医療の提供に努めています。また、日本赤十字社の基本理念である「人道・博愛精神」に基づき、救急医療・災害医療にも力を入れており、東日本大震災の経験を活かした災害時救護活動などを行っています。

院内に「常に向上心を持って、患者様中心の医療を提供する」という文化が根付いており、院内研修会や症例検討会、勉強会なども活発に行われています。

03 研修の特徴

令和7年度 募集人数 8人

1年次研修は約4週間の院内オリエンテーションから始まり、前半は院内必修診療科研修を中心として、全般的診療能力の習得に努めます。2年次研修は医師や上級医との救急外来での診療を通じ、プライマリーケアの実践を積むとともに、画像所見の読影、超音波検査手技などのショートレクチャーを適宜行うことで、短時間で立ち上がるためのスキルアップを図ります。また、種々の診療科横断的検討会（救急症例、病理解剖症例など）により、多角的視野からの症例アプローチ法を学び、バランスのとれた臨床能力の獲得に努めます。

研修プランは臨床研修医の皆さんの希望を最大限に取り入れることができるよう柔軟に対応し、県内外の医療機関との連携により幅広い研修プランを組むことが可能です。

盛岡市は自然、商業、文化が調和した魅力ある街です。交通の利便性も高く、各種学術集会、研究会などへの参加も容易です。恵まれた環境で皆さんと共に学んでいけることを、スタッフ一同、楽しみにしています。



04 研修プログラムの一例

1年次	オリ	総合診療科	内科	小児・産婦	外科	麻酔・救急
	4週	8週	16週	4週: 4週	8週	4週: 4週

2年次	救急	地域+在宅	精神	自由選択
	4週	8週	4週	36週

盛岡赤十字病院

〒020-8560 盛岡市三本柳6-1-1
 TEL 019-637-3111
 HP <http://www.morioka.jrc.or.jp>
 E-mail kensyu@morioka.jrc.or.jp
 院長 久保 直彦



03 盛岡 岩手県立中央病院

高度急性期医療を推進する
県民に信頼される親切であたたかい病院

01 病院データ

 標榜診療科	28 科
 病床数	685 床
 医師数	204 人 <small>(常勤/2024年4月1日現在)</small>

 宿舎
徒歩1分 家賃1万円程度

研修室の様子



02 病院の特色

当院は、急性期高機能センター病院として先進・高度・特殊医療機能と臨床研修病院としての教育・研修機能、医療情報機能など、県立病院の中心的役割を担っています。また、地域医療確保のための診療応援を行うとともに、がん化学療法科やセカンドオピニオン外来、女性外来など、時代のニーズに応じた専門外来があります。高度先進医療への取組みを充実させ、多くの県民の皆さまに医療を提供するため、地域医師会と協力し医療連携を推進するとともに、回復期の患者さんには早期退院をすすめ、次の入院患者さんの待ち時間の短縮に努めています。

03 研修の特徴

令和7年度 募集人数 **19**人

当院は臨床研修制度必修科前から、スーパーローテート研修を行ってきました。その長い歴史から、病院全職員で臨床研修医を育てる環境が整っています。特徴のひとつに、1・2年次研修医が中心となって、指導医とともにを行う屋根瓦式救急研修体制があります。臨床研修医＋内科当直＋外科当直＋脳当直＋循環器当直＋ICU当直＋小児当直（小児輪番日のみ）のほか、全科オンコール体制をとって臨床研修医の救急研修のバックアップを行います。年間約17,000名の救急患者のほぼ全例の診療に臨床研修医があたり、軽傷から重症まで幅広く初期診断、初期治療を実施する適切な判断能力を取得できます。AHAのBLS資格の取得も可能、院内ACLSやPTLS講習会を受講し、救急診療に必要な知識や技術を学ぶ機会に恵まれています。また、高度医療においても症例数に富んでおり、研修医の探究心に応えるだけの症例と専門性を備え、熱心に指導する指導医が揃っています。



縫合実習の様子



毎日行われる救急症例振り返り



消化器外科の手術ビデオカンファ

04 研修プログラムの一例

1年次	オリ (内科)	選択	麻酔	自由選択	産婦 救急
	4週	12週	4週	20週	4週 4週

2年次	地域	小児 総診 救急	自由選択	精神 選択
	8週	4週 4週 4週	20週	4週 4週

岩手県立中央病院

〒020-0066 盛岡市上田一丁目4番1号

- TEL 019-653-1151
- FAX 019-653-2528
- E-mail gyomu@chuo-hp.jp
- HP <http://www.chuo-hp.jp/>
- 院長 宮田 剛



01 病院データ

	標榜診療科	17 科
	病床数	268 床
	医師数	29 人 (常勤/2024年4月1日現在)

	宿舎
なし その分、令和3年度に基本給を上げて対応しています。	

研修室の様子



02 病院の特色

当院は、17診療科を有する総合病院として、外来、入院、急患に対応するとともに、岩手医科大学附属病院や地域の開業医との連携を重視した地域医療支援病院としての役割を担っています。消化器・栄養センターでは急性/亜急性期の患者さんを中心に診療を行っています。内科領域では内視鏡治療やIVR、外科領域では腹腔鏡下手術、各種の消化器がん疾患 に対して低侵襲治療を中心とする高度な医療を提供し、積極的に早期回復・退院を進めています。一方、地域医療貢献として回復期に時間を要する患者さんには、地域包括ケア病棟による在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療を積極的に行っています。盛岡市周辺地域にとって「なくてはならない病院」となるよう職員一丸となって努力してまいります。

03 研修の特徴

令和7年度 募集人数 4人

当院の研修制度は、7科目の必修科目終了後に「自由選択コース・消化器内科コース・外科コース」のいずれかを選択して研修します。救急医療、地域医療、小児科、産婦人科は主に岩手医科大学附属病院や盛岡赤十字病院などでの研修を予定しています。また、当院は岩手医科大学への通学も容易な位置にあることから、岩手医科大学社会人大学院生を積極的に受け入れます。臨床研修後は、専攻医として当院に勤務、もしくは岩手医科大学の各医局への入局が主な選択肢になります。研修医募集定員は4名です。消化器内科コース、外科コースでは、将来消化器内科医、もしくは消化器外科医を志す臨床研修医を積極的に支援します。消化器内科、外科領域の認定医、専門医取得を目標とするきめ細やかな指導を目指していますので、全国学会発表、論文作成も含む少人数制の実践的研修プランと考えてください。当院ではメンタリング制度を導入しますので、臨床研修医はメンティーとしてメンターに研修内容、研修後の進路など、なんでも遠慮なく相談してください。



04 研修プログラムの一例

1年次	オリ	内科(一般) 24週以上	救急	精神	麻酔	外科	小児
	2週	当直・救急係	4週	4週	4週	4週	4週

2年次	産婦人科	地域	自由選択・消化器内科・外科 36週以上	選択
	4週	4週	当直・救急係	4週

盛岡市立病院

〒020-0866 盛岡市本宮五丁目15番1号

TEL 019-635-0101

FAX 019-631-1661

E-mail hosp.soumu@city.morioka.iwate.jp

HP <https://www.morioka-city-hosp.jp>

院長 加藤 章信



05 岩手中部 岩手県立中部病院

See one, Simulate one, Do one,
Reflect one, Teach one!

01 病院データ

	標榜診療科	25 科
	病床数	434 床
	医師数	83 人 <small>(常勤/2024年4月1日現在)</small>

 **宿舎**
病院と近い。
家賃1万円程度。
エアコンが新しい。

研修室の様子



02 病院の特色

当院は中部地域の広域基幹病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院として、主に急性期医療を担っています。さらに地域の医療機関と連携し、がん診療、がん緩和ケア、周産期医療、結核・新型コロナウイルスなど感染症への対応にも力を入れて良質で安全な医療の提供を心がけています。



中部病院イメージキャラクター「えぐるんズ」

03 研修の特徴

令和7年度 募集人数 **12人**

募集定員12名。ベッド数400とほどよいサイズ感で、多くの患者さんを経験できます。総合診療科・緩和ケア科を必須ローテーションとしています。2023年度の臨床研修医1人あたりの超過勤務は平均490時間（最小353・最大658）で働き方改革で示された960時間以内でした。

医療人の基本規範である、患者さんのケア・患者さんの自律尊重・正義公平の3つを体に染みつけ、病院の基本理念「心のかよう患者中心の医療を実践し、地域社会に貢献する」にベクトルをあわせ、誠実さ・思いやり・情熱を大切にしながら研修を行っています。医療人として、自分の振る舞い・スタンスを常に振り返り、さらなる高みを目指してゆく、すなわち医のプロフェッショナリズムを実践します。



04 研修プログラムの一例

1年次	オリ	内科系	総診	麻酔	小児	外科	外科系
	4週	24週	4週	4週	4週	4週	8週
2年次	産婦	緩和	精神	地域	総診	病理	自由選択
	4週	4週	4週	4週	4週	2週	30週

岩手県立中部病院

〒024-8507 北上市村崎野17地割10番地
 TEL 0197-71-1511
 FAX 0197-71-1414
 E-mail chubu_rinken@pref.iwate.jp
 HP <http://www.chubu-hp.com/>
 院長 吉田 徹



岩手県内 11 病院紹介

06

たんこう
胆江

いさわ 岩手県立胆沢病院

肉食系研修医大募集!
「プロフェッショナル」になりたくないか?

01 病院データ

	標榜診療科	24科
	病床数	346床
	医師数	72人 (常勤/2024年4月1日現在)

 宿舎
借り上げアパートへの入居が多い。病院から近く、築浅の物件もあり。

研修室の様子



02 病院の特色

岩手県立胆沢病院は、岩手県南部に位置する人口12万人の奥州市にあり、金ケ崎町をあわせて胆江医療圏(約13万人)の広域病院である。東北自動車道奥州スマートインターから車で3分、敷地内にヘリポートも有しており、救急搬送のアクセスが極めて良い。受け入れを断らない当院は、救急車搬入数は県立病院で第3位、新患の紹介も含め症例数が豊富である。専門医療においては各科2次医療圏を超えた範囲からの紹介も受入れており、症例数は雑誌にも取り上げられている。

教育病院として歴史があり、多数のスタッフが当院で臨床研修を受けたOBである。皆が教える精神を持っており、診療科の壁は低く、臨床研修医もスタッフもそれぞれ相談しやすい。医師全員が顔と名前を知っているサイズ感とアットホームな雰囲気の病院である。中規模病院ではあるが、ダビンチ手術や消化管内視鏡治療などの先進医療にも積極的に取り組んでいる。組織横断的活動も盛んであり、災害医療などにおいては県内有数の施設となっている。

03 研修の特徴

令和7年度 募集人数 8人

必修は内科(消化器内科・循環器内科・血液内科・呼吸器内科)24週、外科、麻酔科を各8週、小児科、産婦人科(院外)、精神科(院外)、地域医療(院外)、総合診療(院内外来研修)を各4週、病理(院外)1週。院外必修診療科は8週まで可。9週以上選択したい場合は選択診療科として研修する。自由選択では、当院にない診療科を県内の他病院で12週まで研修可能。

自分のやりたい医師像に合わせて、自分でローテートする診療科および期間、目標を決めてもらう(オーダーメイド研修)。基本的にローテート期間は2カ月以上をお勧めしている。なぜなら、4週の研修では分かったつもりになるが、実際には責任を持った診療ができずに終わるからだ。臨床研修医が本当に成長するのは2カ月目からである。患者の把握、理解が進み、より適切な指示が出せるようになる。3カ月目には主治医と同等に任せられるレベルになる者もいる。そのため、4週ごとに細切れで多数の診療科をローテートすることはお勧めしていない。手技などを多く経験し、責任ある診療に当たってもらう。特に最初の診療科は3ヶ月以上ローテーションし、病院に慣れ、診療の基本を修得してもらう。

短期間で覚えた知識は、数年後には古びたものになる。しかし、十分なコミュニケーション能力、診療のストラテジー、自ら知識をアップデートする能力を身に付ければ、どの専門分野に進んでも、どこで病院で働くときでも「使える力」になると考える。初期研修の目標は、スーパー医学生になるのではなく責任のある医師になることである。当院では医師としてのプロフェッショナリズムを養い、自律していくことを最大の目標にしている。

希望に応じて相談の上、3年目もローテート研修を継続することが可能である。プライマリケアに熟達する、もしくは将来志望する診療科に進む前に他の技術・知識を身に付ける、あるいは主治医として研鑽を積みながら専門とする診療科を決めるなど、将来幅をもった医師として活躍するためのオプションである。早く専門医になることだけが全てではないと考えている。



ダビンチ手術の様子



教育回診の様子



懇親会の様子。肉食系研修医募集中

04 研修プログラムの一例

1年次	循環器内科	小児	麻酔科	外科	消化器内科	泌尿				
	16週	4週	8週	8週	12週	4週				
2年次	整形	脳外	精神	地域	呼吸器内科	産婦	画像	肝臓	総診	消化器内科
	4週	4週	4週	4週	8週	4週	4週	4週	4週	12週

※内科系志望研修医のローテート実例

岩手県立胆沢病院

〒023-0864 奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地
 TEL 0197-24-4121
 FAX 0197-24-8194
 E-mail isawarinsyoukensyu@gmail.com
 HP http://www.isawa-hp.com/
 院長 郷右近 祐司



01 病院データ

	標榜診療科	24 科
	病床数	315 床
	医師数	64 人 (常勤/2024年4月1日現在)

	宿舎
病院から徒歩約3分 2K 宿舎料(共益費・水道料込み) 13,320円/月	

研修室の様子



女性医師室



02 病院の特色

当院は、岩手最南端の一関市にある24の診療科を標榜する地域医療支援病院であり、岩手県南と宮城県北までの約15万人の医療圏での急性期医療・専門医療を中心に診療を行っています。

日本人の3大死因であるがん、心筋梗塞、脳卒中については、がん診療では地域がん診療連携拠点病院として各診療科による専門診療に加え、画像診断科、放射線治療科、化学療法科、緩和医療科などを交えた横断的診療を行っており、心筋梗塞や脳卒中についても、カテーテル治療や手術を含め各診療科による急性期診療を行っています。

また、産婦人科・新生児科による周産期、新生児診療や救急科による救急診療についても、それぞれ専属の常勤医師を配置し、地域医療に貢献していることが評価され、2017年度には「自治体立優良病院」として総務大臣表彰されました。

03 研修の特徴

令和7年度 募集人数 8人

1. On The Job Trainingで多数の実経験を積む

初期研修の時期から患者さんに直接触れて診療を行うことを重要視しています。病棟では担当医として日々の回診や診察を行うことはもちろん、外来では再来のほかにも新患も受け持つ診断や治療を担います。各種検査や処置、手術においても術者や助手として診療に加わり、手技を積極的に経験することを推進しています。



2. 最短で専門医資格をとる

初期臨床研修制度の基本概念であるプライマリケアの習得を積極的にはかりつつ、さらに初期研修終了後の後期研修(専攻医研修)へスムーズに繋がるように、初期研修期間中の診療科研修の自由選択期間を長く設定しています。また、新専門医制度に対応した各種学会の専門医認定施設の整備も、積極的に行っています。

3. 2年次で救急外来を仕切る

救急外来での救急診療科研修では、1年次前半は副当直として経験を積み、1年次後半からは日当直医として、更に経験を重ねます。2年次には患者を診るだけでなく、救急外来全体をマネジメントできるように、スキルを獲得していきます。



4. 知識や技能だけでなく、医師としての人間性も磨く

患者や家族に対する共感、思いやりの精神を涵養し、同僚の医師や看護師をはじめとするメディカルスタッフとのコミュニケーションを密にとり、多職種連携を意識した診療を積み重ねて、医師としての望ましい態度を形成していきます。

04 研修プログラムの一例

1年次	オリ	内科系	救急	麻酔	外科	選択
	2週	24週	8週	4週	8週	6週

2年次	産婦	小児	精神	地域	選択
	4週	4週	4週	4週	36週

※GW、年末年始の連休期間等は、1ブロック5週となる場合がある。

岩手県立磐井病院

〒029-0192 一関市狐禅寺字大平17番地
 TEL 0191-23-3452
 FAX 0191-23-9691
 E-mail iwaihp@yahoo.co.jp(臨床研修センター)
 HP <http://www.iwai-hp.com/>
 院長 阿部 隆之



08

けせん
気仙

おおふなと
岩手県立大船渡病院

優しさと信頼のある医療の実現

Greet (挨拶する) Thank (感謝する) Respect (敬意を払う)

01 病院データ

	標榜診療科	21 科
	病床数	489 床
	医師数	43 人 <small>(常勤/2024年4月1日現在)</small>

	宿舎
病院から徒歩5分	

研修室の様子



02 病院の特色

当院は本院469床(一般370床、精神105床、結核10床、感染4床)に救命救急センター20床を併設した岩手県沿岸南部唯一の広域基幹病院です。救命救急センターでは気仙地域の救急医療を一手に担い、昼夜を問わず一次から三次のあらゆる救急患者に24時間体制で対応しています。

また、災害拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院としての役割も担っています。地域の人々が安心、そして信頼できる医療の実践を目指して、情熱のある医師や臨床研修医、そしてスタッフが全力で診療とケアにあたっています。

03 研修の特徴

令和7年度 募集人数 7人

「優しさと信頼のある卓越した臨床医の育成」を研修理念とし、プライマリ・ケアを中心としたプログラムです。特に救急医療に積極的に取り組んでおり、臨床研修医もチーム医療の戦力として積極的な診療ができる実践的な環境となっています。また、関連する診療科とのコンサルテーションや協同診療など、医師として必要な協調的姿勢を身につけることを目標にしています。

1年次の6月から月に4~6回、救急外来の日当直に入ります。上級医の指導のもと、軽症から重症患者までの幅広い初期対応が学べ、臨床研修修了後にどの分野に進んでも生きる力を身につけることができます。

自由選択を44週とし、外科系、内科系問わずできるだけ希望に沿った科目を習得できるよう、自由度を持たせたローテートを提供しています。年度途中でのローテート変更も可能です。

2年間の臨床研修修了後の進路は自由であり、県内の様々な専門研修プログラムの連携施設となっています。



04 研修プログラムの一例

1年次	オリエンテーション	内科	外科	救急	精神	小児
	4週	24週	4週	12週	4週	4週

2年次	産婦	自由選択	地域	自由選択
	4週	20週	4週	24週

岩手県立大船渡病院

〒022-8512 大船渡市大船渡町字山馬越10番地1

TEL 0192-26-1111

E-mail rinkenshikan@pref.iwate.jp (総務課・臨床研修担当)

HP <http://oofunato-hp.com>

院長 中野 達也



01 病院データ

	標榜診療科	20科
	病床数	334床
	医師数	33人 (常勤/2024年4月1日現在)

	宿舎
全室オーシャンビュー エアコン・Wi-Fi完備 病院から徒歩1分以内	

研修室の様子



02 病院の特色

当院は、1市3町村、人口約7.2万人の医療圏域内で、唯一急性期医療を担う広域基幹病院です。本州最東端に位置しています。

夜間及び休日は、全診療科がオンコール体制を敷いて救急医療体制を支えています。救急センター化はされていませんが、1次から3次までの多くの救急患者を受け入れ診療しています。そのため地域の救急医療を一手に担っていますので、様々な症例を経験できます。また、勤務医の数が少ないことから、診療科ごとの垣根が低く、各科の協力体制が確立されています。

03 研修の特徴

令和7年度 募集人数 5人

- 研修診療科の途中変更なども含めプログラムの自由度が高くなっています。
- 症例の取り合いがなく、自然に多数の経験を積めることから、医師としての腕力をつけることができます。
- 研修医報告会で症例提示を行い、発表のノウハウも身につきます。
- 1年次の当直は22時までの半当直となっており、身体的負担が少なく、振り返りなどをしながら実力をつけ、2年目からは上級医とともに当直に入ることとしています。
- 当院の臨床研修医になりながら、社会人大学院に入学することも可能です。
- 専門研修は、臨床研修医のニーズに合わせて随時相談を受けており、当院が基幹施設となる「いわて三陸海岸連携内科研修プログラム」で内科専門医を目指すこともできます。
- 研修医室が整備されており、上級医に気兼ねなく休憩できます。
- 地域医療研修で、名古屋大学や東北大学などからも研修医を受け入れています。
- レディースルームも設置しており女性医師も働きやすい環境となっています。



04 研修プログラムの一例

1年次	内科+オリエンテーション	外科	救急	小児	産婦	選択	選択
	25週+2週	4週	4週	4週	4週	4週	5週

2年次	地域	精神	自由選択
	4週	4週	44週は4週を1単位として 選択診療科での研修を行う

岩手県立宮古病院

〒027-0096 宮古市崎蹴ヶ崎第1地割11番地26

TEL 0193-62-4011

FAX 0193-63-6941

E-mail EA1005@pref.iwate.jp

HP <http://www.miyako-hp.jp>

■院長 川村 英伸



10

久慈

岩手県立久慈病院

地域の人々の命と健康を守り、
信頼される病院を目指す

01 病院データ

	標榜診療科	20科
	病床数	334床
	医師数	30人 <small>(常勤/2024年4月1日現在)</small>

	宿舎
	1LDK <small>(エアコン、wifi完備)</small>

研修室の様子



02 病院の特色

当院は三陸復興国立公園の北部、久慈市北東部に位置し、人口約5万3千人の久慈医療圏に唯一の総合病院です。平成10年3月に救命救急センターを併設して現在地に移転新築し、ドクターヘリを受け入れるなど高度急性期医療から地域包括ケア病棟などの回復期医療まで、地域完結型の病院として安全で質の高い医療を提供しています。

高度な医療機器を整備するとともに、救急専門医のほか、各診療科の専門医が多種多様な患者の診察にあっています。また、地域がん診療病院として、がん治療認定医が4名おり、質の高いがんの診断、治療に取り組んでいます。

03 研修の特徴

令和7年度 募集人数 5人

- 1診療科に臨床研修医が1名から最多2名とし、密度の濃い研修が受けられます。
- 1年次の当直は当初、3人体制で始まるので、指導医から教育を受けながらスムーズに研修に入ることができます。
- 臨床研修修了後の進路に対する制約はありません。
- 当院の救急車受け入れ要請受諾率は99.9%です。そのため、様々な疾患のファーストタッチを担うことができます。
- 臨床研修医全員がBLS、ACLSのプロバイダの資格を取得でき、希望があればJATECを取得できます。
- 自由選択科目は48週と長いので、研修医の希望に沿ったプログラムを組むことが可能です。
- 各診療科間の垣根が低いので、相談などがしやすい医局です。
- 歓迎会、納涼ビール列車、ピンポン大会など、楽しい行事がたくさんあります。



救急症例検討会の様子



救急センター

04 研修プログラムの一例

1年次	オリ	内科	精神	外科	小児	産婦	救急
	2週	26週	4週	4週	4週	4週	8週

2年次	地域	選択
	4週	48週

岩手県立久慈病院

〒028-8040 久慈市旭町10-1

TEL 0194-53-6131

FAX 0194-52-2601

E-mail kujihp.kensyu@gmail.com

HP <http://www.kuji-hp.com/>

院長 遠野 千尋



01 病院データ

	標榜診療科	18 科
	病床数	253 床
	医師数	31 人 (常勤/2024年4月1日現在)



宿舎

単身・ファミリーどちらにも対応可能な公舎あり。いずれも徒歩2分以内。

研修室の様子



02 病院の特色

当院は、岩手県内陸北部と青森県南部の一部を診療圏とする、この地域唯一の総合医療機能を有する中核病院で、圏域内の県立病院や開業医と連携しながら地域完結型の医療提供を行っています。当院では、この圏域の救急医療の大半を一手に引き受けており、心疾患、脳疾患をはじめとした各分野の専門医体制による急性期医療を行うとともに、地域がん診療病院、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院としての役割も担っています。また、在宅医療や保健医療福祉連携にも力を入れており、医師臨床研修、看護・医療技術系学生などの教育・研修にも積極的に取り組んでいます。

03 研修の特徴

令和7年度 募集人数 5人

この地域は人口あたりの医師数、医療施設数ともに県平均、全国平均以下(約半分)であるため、急性期から回復期まで多様な症例を数多く経験することができます。また、1診療科研修医1名体制(同年次)をとっているため、指導医・上級医とじっくり向き合いながら密度の濃い研修を受けることができます。

地域との繋がりが強い当院ならではのユニークな取組みとしては、二戸消防署の救急隊が通報を受けた際に、病院に待機している救急隊(救急車)が臨床研修医と共に現場に出動し救急活動を一緒に行う「救急車同乗研修」などがあり、病院へ到着するまでの一連の流れを経験することができます。

医局内の雰囲気、まとまりも大変良く、研修中の診療科の指導医以外にも気軽に相談することができるなど、研修を行うには最適な環境であり、また、盛岡市まで新幹線で約20分という立地も岩手医科大学社会人大学院生として入学する場合や、学会・研修会参加などの際に非常に便利です。

また、後輩に教えることで自分の力をつけていくことを推奨し、研修医同士で勉強会を開いたり、アットホームな雰囲気の中にもメリハリのある研修生活を送っています。



救急車同乗研修



ラバロトレーニング



縫合トレーニング

04 研修プログラムの一例

1年次	オリ (選択)	内科	救急	麻酔	外科	小児	産婦	精神
	4週 (1週)	24週	4週	4週	4週	4週	4週	4週

2年次	地域	選択
	4週	48週

岩手県立二戸病院

〒028-6193 二戸市堀野字大川原毛38番地2

TEL 0195-23-2191

FAX 0195-23-2834

E-mail ea1014@pref.iwate.jp

HP <http://www.ninohe-hp.net>

院長 小笠原 敏浩





HERITAGE 中尊寺金色堂 (新覆堂)

金箔の仏堂や一連の遺跡群は壮麗で浄土を願った奥州藤原氏の思いと古のロマンに思いを馳せてみては。



HERITAGE 橋野鉄鉱山・高炉跡

現存する日本最古の洋式高炉跡で、日本近代化の礎を築いた岩手の先人の功績を見ることができる。



HERITAGE 御所野縄文遺跡

土屋根住居が確認され復元イメージが変わるきっかけに。周囲の自然と一体となった景観も魅力で、住居には入ることもできる。



SPOT 石割桜

巨大な岩を割って自生するエドヒガンザクラ。市の中心地にあり、開花もはやいことから多くの観光客で賑わう。



SPOT 龍泉洞

日本有数の規模の鍾乳洞で、清水を灌えた地底湖はドラゴンブルーとも呼ばれ青く神秘的で美しい。夏でもひんやり涼しい。



SPOT 北山崎

海と岩場が入り組む息を呑む景観が魅力。みちのく潮風トレイルのコースでもあり、見て、歩いて堪能できる。



ACTIVITY 盛岡さんさ踊り

盛岡市と周辺地域に踊り継がれてきた。ハレードは圧巻で、2014年には「和太鼓同時演奏の世界記録」としてギネス認定された。



ACTIVITY シーSUP

三陸の海ではアクティビティも楽しめる。特にシーSUPは各地で体験会が開かれ、これから始める人にも安心のフィールド。



ACTIVITY 安比高原スキー場

東北最大規模のスキーリゾート。本州屈指のさらさらの雪質を誇り「アスピリンスノー」とも称される。山に温泉にと周辺のスポットも魅力。



FOOD 盛岡三大麺

抜群のコシとこくのあるスープが魅力の盛岡冷麺、掛け合いが楽しくお腹も満足なわんこ蕎麦、自分の味を極めたいなるじゃじゃめん。食べるべきソウルフード。



FOOD 前沢牛

とろけるような肉質で口の中で消えるとはこのこと。全国でもトップクラスのブランド牛をぜひ岩手で。



FOOD 岩手の海産物

世界三大漁場の一つ、三陸の海が目の前に。豊富な種類と漁場への近さによる抜群の鮮度が魅力。



いわてイーハトーヴ臨床研修病院群

岩手県医師支援推進室

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11-1

TEL. 019-629-6352 FAX. 019-629-6354

URL. <https://rinsyo-iwate.pref.iwate.jp/>



岩手県

